

ネコソギロングシャワーV8

実際に使用する際は必ず商品ラベルをよく読み、記載内容に従ってお使いください。

農林水産省登録 第24114号

農薬の名称 ネコソギロングシャワーV8

農薬の種類 グリホサートイソプロピルアミン塩・ブロマシル・メコプロップPカリウム塩液剤

成分

- ・ グリホサートイソプロピルアミン塩・・・・・・・・・・1.5%
[イソプロピルアンモニウム=N-(ホスホノメチル)グリシナート]
- ・ ブロマシル・・・・・・・・・・・・・・・・・・0.75%
[5-ブロモ-3-セコンダリーブチル-6-メチルウラシル]
- ・ メコプロップPカリウム塩・・・・・・・・・・0.25%
[(R)-2-(4-クロロ-o-トリルオキシ)プロピオン酸カリウム]
- ・ 水、界面活性剤等・・・・・・・・・・97.5%

性状 淡黄色澄明水溶性液体

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数※		
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地等	一年生雑草	雑草発生前	40~80 mL/m ²	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壤散布	本剤及びブロマシルを含む農薬	グリホサート及びメプロップPを含む農薬	
		一年生雑草	雑草生育期	20~60 mL/m ²	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布又は全面土壤散布			
		多年生雑草		30~60 mL/m ²				
		ササ		60~120 mL/m ²				
		ススキ		60~120 mL/株 (ただし、120L/10a まで)				
		コケ類		コケ類生育期				30~60 mL/m ²
		イシクラゲ		イシクラゲ生育期				60~120 mL/m ²

※は本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬を、年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

- 薄めず原液のまま、雑草の茎葉全体にしっかりとかかるように散布するか、雑草が生えている地面に散布します。長期間効かせたい場合は地面に十分量を散布してください。
- コケ類には、コケの表面が十分に湿るように散布します。
- イシクラゲには、必ずイシクラゲが水分で膨らんでいるときに使用します。徐々に変色し2~3週間かけて量が減少していきます。変色後でも膨らんだ状態がしばらく続くので、気になる場合は取り除いてください。
- 枯らしたくない植物の周りでは使用できません。

効果・薬害等の注意

- 散布適期は雑草発生前及び雑草生育期（草丈 30cm 以下）であり、生育の進んだ雑草には効果が劣るので、時期を失しないように散布する。
- イシクラゲには、水を含んで膨潤状態の時に使用する。
- 樹木等の植栽地に流入または飛散するおそれがある場所等では使用しない（薬害）
- 植物の葉面や根から吸収されると薬害が発生するので、水田や水田への利用が考えられる用水路等に本剤の流入が想定される場所や、農作物および樹木類等有用植物の付近では使用しない。
- 傾斜地や砂質土壌では使用しない（薬害）
- 本剤を散布した場所やその付近では、有用植物の植付けは行わない（薬害）
- ハウス等の施設周辺では使用しない。[施設内使用禁止マーク]
- 本剤の飛散あるいは流出によって、樹木類等の有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布する。
- 水源池、飲料用水、灌漑用井戸、養殖池等に本剤の飛散や流入及び浸透が想定される場所では散布を行わない。
- 本剤が流出するような激しい降雨が予想される場合は散布を行わない。
- 散布器具、容器はよく洗浄し、洗浄廃液は直接河川や用水路に流れ込まないように十分注意し、環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理する。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。

安全使用上の注意

- 誤飲に注意。
- 眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗する（弱い刺激性）
- 散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。[マスク着用マーク]
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管。

魚毒性等・・・河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意（藻類）

保管・・・密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手の届かない冷涼な所。

横にししないで立てて保管する。